

県民の友 12

No.1048
令和7年
[2025]

月号

県政最前線

「こどもまんなか」の未来をつくる
和歌山県のこども・子育て支援

「こどもまんなか」の未来をつくる

和歌山県の
こども・子育て支援

問い合わせ
こども未来課
☎073-441-2492
FAX073-441-2491

全てのこどもや若者が将来にわたって幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」。今年3月、県は、この社会の実現に向けた今後5年間の方針や取組を示す「和歌山県こども計画」を策定し、計画に基づくさまざまな施策を進めています。

今回の特集では、県が現在力を入れている「こどもや若者の声を聴く取組」や「こども、若者や子育てを支える取組」を中心に、こどもまんなか社会につながる主な施策を紹介します。

こどもや若者の声を聴く

こどもや若者が意見を言いやすい環境、その意見が尊重される環境をつくるため、県では、こどもや若者の声を聴く取組を進めています。

こどもや若者にとっても、「大人に意見を聴いてもらう」経験は、自己肯定感や社会の一員としての意識を高めるうえで重要なことです。



第1回会議

オリエンテーション

チーム同士や県職員との顔合わせ。県は今後の流れを説明し、各チームは次の会議に向けた準備を始めます。

県内7校・計33人の高校生が
参加しました！

第2回会議 中間発表

選んだ議題についてチームで議論。施策提案に向けた資料を作成し、発表を行いました。1泊2日の合宿を通して、参加者同士の交流も深まりました。



「高校生未来会議」の感想を聞きました



県立串本古座高校チームの皆さん

「『青少年の家』や『自転車交通マナー』など、私たちの身近な事柄に対して考えを表現できると知り、会議への参加を決めました。会議の場は話しやすい雰囲気を作られていて、普段は意見を言うのが苦手なメンバーも『しゃべりやすい』と感じながら話し合えました。他チームの発表から自分たちとは違う視点や考えをたくさん学ぶこともできました。また、自分たちで調査をして問題を深く知ることが、選んだ議題への当事者意識がより高くなった気がします。」

大人に意見を言うことは、私たち世代の誰もが経験した方が良く、大切なことだと感じています。「高校生未来会議」が今後も続いてほしいですし、同じような機会が他の場所でも設けられると良いと思います。

オンラインアンケート

より多くのこどもや若者が社会に思いや考えを伝える機会を持てるよう、6～8月末までの期間、県内の小学生・20代の方を対象としたアンケートを実施しました。「高校生未来会議」と同じ4つの議題について意見を募ったところ、約1,000件の回答をいただきました。回答は、県の担当課等で確認し、今後の施策への反映も含めた検討を行っていきます。

「自分の意見が尊重されている」と感じるこどもは、そうでない場合と比べて幸福度が高い」との調査結果*もあります。こどもまんなか社会をつくるには、家庭や地域など、普段の生活の中で大人がこどもや若者の声にしっかり耳を傾けることも大切です。

*（公財）日本財団「こども1万人意識調査」

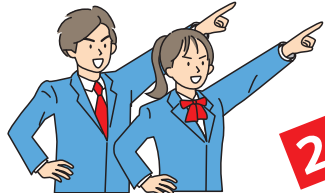


県こども計画の詳細はこちら



「和歌山県こども計画」の5つの方針

- 1 こどもや若者一人一人の人権を尊重し、社会形成をこどもや若者とともに推進します
- 2 こどもや若者の健やかな発達と育成を切れ目なく支援します
- 3 全てのこども、若者やその家庭を対象とした良好な成育環境を確保します
- 4 社会全体でこども、若者や子育てを支援します
- 5 妊娠、出産、子育ての希望を実現します



2025

高校生未来会議

議題

① こどもや若者の権利の保障

② 「青少年の家」のあり方

③ プレコンセプションケア※

※若い男女が将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うこと

④ 高校生の自転車交通マナー

提案のあった施策案は、県において事業への反映を検討し、こどもや若者の視点に立った施策づくりにつなげていきます。

第3回会議 施策提案

中間発表をさらに磨き上げた施策案を県の幹部職員等に提案。全チーム、しっかりと議論してまとめた努力の跡がうかがえました。



第4回会議 県からの報告

担当課から、提案の事業への反映方針とその理由をチームに報告・説明します。（来年1月に実施）

子育て

こども誰でも通園制度

2026年度から、さまざまな経験を通してこどもの成長を応援することを目的とした「こども誰でも通園制度」が全市町村で始まります。この制度では、保護者の就労状況にかかわらず、0歳6か月～満3歳未満のこどもが月一定時間まで特定の保育所等を利用できるようになります。

*和歌山市、海南市、紀美野町は
先行実施中



紀州っ子いっぱいサポート【保育所等利用料・副食費支援】

下表に該当するこどもの保育所等利用料を無償化しています。また、3～5歳のこどもがいる多子世帯には、副食費の助成も行っています。

保育所等利用料無償化の対象

	0～2歳	3～5歳
第1子	住民税非課税世帯	全世帯
第2子	年収360万円未満世帯	
第3子	全世帯	

国が補助
県・市町村が補助



学校給食費の無償化

市町村立小中学校(和歌山市の中学校を除く)の学校給食費無償化を実施する市町村を支援するとともに、県立特別支援学校における学校給食費を無償化しています。

問:健康体育課

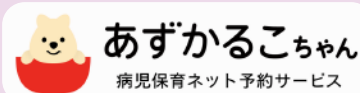
☎073-441-3694

FAX073-441-3697



病児保育ネット予約サービス「あずかるこちゃん」

「あずかるこちゃん」を導入している病児保育施設の空き状況確認・予約を、スマートフォンから行えます。



こども救急相談ダイヤル

夜間や休日にこどもの具合が悪くなったときの対処方法を看護師(必要に応じて医師)に相談できます。

☎#8000(プッシュ回線・携帯電話)

☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

〈受付〉平日19:00～翌朝9:00

土日祝日・12/29～1/3 9:00～翌朝9:00

問:医務課 ☎073-441-2604 FAX073-424-0425



妊娠・出産

こうのとりのサポート

こどもを望む夫婦を経済的・精神的に支援するために、不妊治療や不育症検査などの費用の一部を助成しています。県内4つの保健所では、医師や保健師等による不妊専門相談も行っていきます。

助成額や申請方法など詳しくはWEBサイトをご確認ください。

問:健康推進課

☎073-441-2642

FAX073-428-2325



妊産婦アクセス支援

妊婦健診や出産のために遠方の分娩施設(※)への通院が必要な妊産婦の方に、交通費や宿泊費を助成しています。
※出産のできる病院・診療所・助産所

問:医務課

☎073-441-2604

FAX073-424-0425



障害者等用駐車区画利用証制度

障害のある方や妊産婦等の移動に配慮が必要な方が、障害者等用駐車区画を利用できるよう、対象者に利用証を交付しています。
(交付要件・有効期限あり)

問:障害福祉課

☎073-441-2532

FAX073-432-5567



こども家庭センター

全ての妊産婦や子育て世帯などからの相談に応じるとともに、一緒に支援計画等を立てたり、他の支援機関と連携して必要な支援を行ったりしています。妊娠・出産、子育てのお悩みは、お住まいの市町村へご相談ください。

*2025年10月現在 県内19市町で設置済

問:市町村こども家庭センター、または

こども支援課

☎073-441-2490 FAX073-441-2491

健康推進課

☎073-441-2642 FAX073-428-2325



わかやま子育て支援パスポート

18歳未満のこどもや妊娠中の方がいる世帯を対象に、協賛店舗や施設で割引やプレゼントなどの優待サービスを受けられるパスポートを発行しています。パスポートは、ホームページから申請することができます。



問:マークがない事業のお問い合わせは
こども未来課(☎073-441-2492
FAX073-441-2491)まで

こころの悩み相談「はあとライン」

年齢にかかわらず、生きづらさや悩み、不安を感じている方への相談支援を行っています。

☎0570-064-556

〈受付〉毎日24時間

LINEでも相談できます→

〈受付〉平日9:00～17:00

問:県精神保健福祉センター

☎073-435-5194

FAX073-435-5193



虐待相談

「虐待かも」と思ったときなどに、誰でもすぐに児童相談所へ連絡ができます。こどもに関する悩み相談にも応じています。

【虐待対応】 ☎189(いちはやく)

【相談対応】 ☎0120-189-783

〈受付〉毎日24時間

問:こども支援課

☎073-441-2490

FAX073-441-2491

里親制度

さまざまな事情で家族と離れて暮らすこどもを、愛情と理解を持って育てる人を「里親」といいます。里親となる方への支援として、養育費や手当の支給、定期的な家庭訪問を行っています。

問:こども支援課

☎073-441-2490

FAX073-441-2491



こども食堂

こどもたちの居場所や地域の交流の場となるこども食堂を増やすため、こども食堂の新規開設や機能強化に必要な費用を補助しています。また、こども食堂に関わるさまざまな人や機関をつなぐネットワークを構築しています。



こどもまんなか応援団

仕事と子育ての両立を推進し、こどもや子育て中の方を応援する事業所・団体を県が登録する制度です。登録事業所等には、「こどもまんなか」に関するセミナー開催や情報提供を行っています。



その他のサポート

この一年、県内ではさまざまな出来事がありました。地域の話題や、人々の思いが形になった瞬間を振り返りながら、一年の歩みを紹介します。

わかやま 2025年を振り返って

7月

20日

第27回参議院議員通常選挙

リハビリ環境・機能を大幅に拡充した東館を開業

14日

和歌山県立医科大学附属
病院紀北分院新棟開業



国道42号有田海南道路

7日

国道42号冷水拡幅及び有
田海南道路(海南市下津
町小南〜海南市冷水)の
開通

6月

1日

和歌山県知事選挙・和歌山県議
会議員日高郡選挙区補欠選挙



式典での記念植樹

5月

24日

「わかやま森林と樹木の日」記念行事
(第49回全国育樹祭記念行事)
2026年11月7、8日に開催される第49回
全国育樹祭の記念行事も兼ねて式典を開催
本年11月29日には全国育樹祭の1年前キック
オフイベントとして「国民参加の森林づくり
シンポジウム」を開催

15日

岸本周平 和歌山県知事 逝去

6月7日には県民葬が執り行われ、約2,500人が参列

13日

「大阪・関西万博」開幕
関西パビリオン内に「和歌山百景」をテーマに
和歌山ゾーンを設置
万博開催期間中、JR西日本グループと連携し
プラスワントリップ和歌山キャンペーンを実施



和歌山ゾーン

4月

1日

国が熊野白浜リゾート空港を特定利用空港
として追加
自衛隊・海上保安庁が平素から円滑に利用できるよう、国との間
で枠組みを構築
訓練を通じて活用方法が事前に確認され、災害時の派遣等が迅
速に行われることを期待
最新の機器を備えた新たな研究施設で感染症
対策や検査能力を強化



県環境衛生研究センター

3月

25日

県立夜間中学校校名決定「新翔くろしお中学校」
2026年4月に開校予定の県立夜間中学校の校名が決定

31日

人権施策基本方針 第四次改定
「ウェルビーイング」な社会の実現をめざし、県の人権施策基本
方針を改定

2月

4日

「和歌山一番星アワード」創設を発表
県産品を厳選して認定・推奨する新たな制度として創設
2026年2月に認定品を発表予定

1月

25日

和歌山県高校eスポーツ選手権 2025開催
1月25日に予選、2月2日に本選が行われ、県内から5校9チー
ムが参加

11月

24日

和歌山県立医科大学創立80周
年記念式典

県立医大のこれまでの歩みを振り返り、次の100年を展望す
る式典や講演を開催



稲むらの火の館

5日

「世界津波の日」制定10周年

「稲むらの火」を由来とする「世界津波の日」
制定10周年を記念し、現地ツアー・シンポジ
ウムを開催

4日

わかやまジェンダー平等プロジェクト始動
ジェンダー平等推進の気運を醸成するため、産業界、行政・教育
機関が一体となったプロジェクトを立ち上げ

23日

第182回関西広域連合委員会・第117回
近畿ブロック知事会議

関西広域連合委員会では、都道府県域を超えた多様な主体が連
携する「関西広域リージョン連携宣言」を実施
知事会議では、「これからの公立高校の在り方」に関する意見交
換や国への提言事項を協議

17日

世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」
認定10周年記念式典

世界農業遺産認定10周年を記念し、シンポジウムを開催

13日

「大阪・関西万博」閉幕

半年間の開催を経て、盛況のうちに閉幕
和歌山ゾーンへの来場者数は約47万人に到達

3日

「大阪・関西万博」和歌山DAY開催

古来から伝わる和歌山の歴史文化を表現したステージイベント
や、県出身の広瀬香美さん、HYDEさんによるスペシャルラ
イブを開催し、和歌山の魅力を発信

10月

1日

和歌山県総合計画(原案)に対する県民意見募
集を開始
2040年に実現したい和歌山の将来像と、それを実現するた
めの政策の方向性を示す新たな総合計画の原案に対し、意見を
募集

9月

18日

岩橋千塚古墳群 特別史跡追加指定
大谷山、大白山、井辺、寺内地区の一部が新たに特別史跡に追
加指定

27日

宇宙アクションプランを策定

宇宙産業を集積するための指針として紀南地域の10市町村と共
同検討し、策定

26日

「有田・下津地域の石積み階段
園みかんシステム」が世界農業
遺産認定

400年以上の歴史を誇る有田・下津地域
のみかん栽培を世界的にも重要な農業シス
テムとして国際連合食糧農業機関(FAO)
が認定



石積み階段園

8月

4日

エルトゥールル号海難事故135周年
「公益財団法人土日基金と覚書を締結」
エルトゥールル号の海難事故135周年を機に、青少年交流の
ための覚書を締結

けんこうたいそう

スッキリのびのび健康体操

時: 12月12日(金) 13:30~14:30

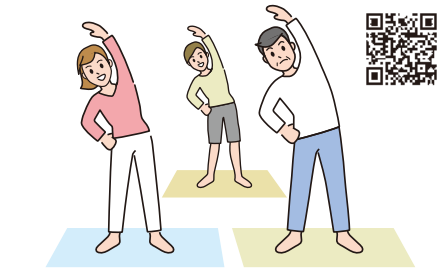
場・定: ビッグ愛(和歌山市) 20人 先着順

費: 1,000円

申・問: 電話、Eメールで氏名、電話番号を会場

☎073-435-5200 FAX073-435-5201

✉big-ai@wakayamasposhin.or.jp



自然の中で心はぐくむ
体験がいっぱい

せいしやうねん いえ

青少年の家

しらさき せいしやうねん いえ

白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1

☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

たち

モチっと凧あげ

餅つきや凧作り・凧あげ体験

時: 1月10日(土) 13:00~16:00

定: 10家族 抽選

費: 1,200円/人+300円/凧

申: ~12月12日

※申し込み方法など詳しくは施設へお問い合わせください。

〇〇青少年の家

みつばち しいく かた

蜜蜂を飼育している方へ

蜜蜂を飼育している方は、原則、毎年1月末までに飼育届を提出することが法律で義務づけられていますので、住居地の振興局へご提出ください。

問: 振興局農業水産振興課、畜産課

☎073-441-2923

FAX073-431-0904

なんびやう ほけん

難病・こども保健

そうだんしえん

相談支援センターから

①筋萎縮性側索硬化症患者・家族交流会

時: 12月20日(土) 13:30~15:30

申: 電話、インターネットで12月12日までに問合先

②県難病の子ども家族会学習会

テーマ: 癒しの灯りで介護が楽になる話

時: 1月31日(土) 14:00~16:00

対・費: 病気や障害のあるこどもの家族、支援関係者等 1,000円(材料費)

申: インターネットで1月20日までに問合先

③難病患者就労支援セミナー

時: 2月2日(月) 13:30~16:00

申: インターネットで1月26日までに問合先

①~③共通

場・定: ビッグ愛(和歌山市) 30人 先着順

問: 県難病・こども保健相談支援センター

☎073-445-0520

FAX073-445-0603

※一時保育は②1月20日、手話通訳・要約筆記は②12月24日③12月26日までに要予約

じせだい

次世代デジタルビルダース・ワークショップ

ゲームソフト「Minecraft」を活用したワークショップ

日時 (各日10:00~17:00)	場所
12月20日(土)、21日(日)	Work&Study IDEA (和歌山市)
1月24日(土)、25日(日)	
2月21日(土)、22日(日)	
12月25日(木)、26日(金)、27日(土)、28日(日)	近畿大学附属 新宮高校・中学校 (新宮市)
1月17日(土)、18日(日)	うつほの杜学園 小学校(田辺市)

申: インターネットでeスタジアム(株)

☎06-4980-0476

問: デジタル社会推進課

☎073-441-2405 FAX073-428-1136

わかやまこうじのうきのうしょうがい

和歌山高次脳機能障害

こうしゅうかい

リハビリテーション講習会

テーマ: 明日へ、あきらめない

時: 12月20日(土) 13:00~17:00

場: 県勤労者福祉会館 プラザホープ(和歌山市)

定: 100人 先着順

申・問: 郵送、電話、FAX、Eメールで申込書(申込先で配布)を12月10日までにNPO法人りとののワークショッププラットフォーム

〒640-8392 和歌山市中之島1794

☎073-423-5838 FAX073-423-5838

✉w-flat@joy.ocn.ne.jp

※手話通訳・要約筆記は12月10日までに要予約

NPO法人りとのの

わかやまけんしよくいん

和歌山県職員をめざす

じよせい しごと

女性のための仕事ガイダンス

時: 12月22日(月) 10:00~16:00

場: オンライン

定: 40人 先着順

申・問: インターネットで12月15日までに県人事委員会事務局

☎073-441-3763

FAX073-433-4085

なんちやうしや しゅわきやうしつ

難聴者サロン・手話教室

時: 【教室】12月15日【サロン】1月5日

いずれも月曜13:30~15:00

場: ビッグ愛(和歌山市)

対: 県内在住の難聴の方

定: 各回20人 先着順

問: 県聴覚障害者情報センター

☎073-421-6311

FAX073-421-6411



けんりついかだいがく

県立医科大学から

①最新の医学・医療カンファランス

超音波検査とリウマチに関する講話

時: 1月8日(木) 14:00~16:00

場: 県立医科大学 紀三井寺キャンパス(和歌山市)

定: 30人 先着順

申・問: 電話、FAX、Eメールで申込書(WEBサイトで配布)を12月11日までに県立医科大学生涯研修センター

☎073-441-0789

FAX073-441-0713

✉life@wakayama-med.ac.jp

②がん患者・家族、県民のための公開講座

テーマ: “支える視点”と“生きる覚悟”

時: 1月24日(土) 13:00~15:00

場: 県立図書館(和歌山市)

対: がん患者・家族など

定: 90人 先着順

申・問: 電話、FAXで氏名、電話番号を1月23日までに県立医科大学附属病院患者支援センター

☎073-441-0778 FAX073-441-0862

③「せん妄」をテーマとした市民公開講座

時: 1月31日(土) 13:00~15:00

場: 県立医科大学伏虎キャンパス(和歌山市)

定: 100人 先着順 (WEB配信あり)

申・問: (WEB参加の場合のみ) インターネットで1月30日12:00までに県立医科大学経理課

☎073-441-0516

FAX073-441-0706

※特別な配慮が必要な場合は1月21日までに要連絡

④脳卒中・心臓病等総合支援センター

県民公開講座

最新の不整脈治療についてなど

時: 2月7日(土) 14:00~15:30

場: 県立医科大学 紀三井寺キャンパス(和歌山市)

定: 400人 先着順

問: 県立医科大学附属病院患者支援センター

☎073-441-0778

FAX073-441-0862

※手話通訳・要約筆記は①12月11日②12月15日④1月6日までに要予約

12 月号

おしらせ

県庁・県教育庁

☎073-432-4111 (代表)

郵送: 〒640-8585 ○〇課あて(住所不要)

各振興局代表電話		伊 都	西牟婁
海 草	☎073-432-4111	健康福祉部	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎073-482-0600	有 田	☎0736-42-3210
建設部	☎073-488-7876	日 高	☎0737-63-4111
那 賀	☎0736-63-0100	健康福祉部	☎0738-22-3111
		串本支所	☎0738-22-3481
		串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日・時間

場…場所・会場

対…対象・資格

定…定員

費…費用

申…申込・応募方法

問…問合せ

✉…Eメール

🔍…WEBサイトを検索

掲載のイベントは、中止や延期になる場合があります。詳しくは主催者にお問い合わせください。

きのくにロボット

フェスティバル2025

ものづくりと科学技術の発展をめざした催し

①全日本小中学生ロボット選手権

②きのくに高校生ロボットコンテスト

③スーパーロボットショーなど

時: 12月21日(日) 9:20~15:30

場: 御坊市立体育館

問: 御坊商工会議所

☎0738-22-1008 FAX0738-23-1245

きのくにロボットフェスティバル

かい わかやま

わかちあいの会和歌山

はな しわす かい

「うめの花」師走の会

大切な人を亡くされた方を支援する講演会、音楽会、交流会

時: 12月20日(土) 12:30~16:00

場・定: ビッグ愛(和歌山市) 30人 先着順

申・問: 郵送、電話、FAXで住所、氏名、電話番号を県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛2階

☎073-435-5194

FAX073-435-5193

※一時保育・手話通訳は要予約

れいわ ねん わかやまけん

令和8年和歌山県

けいさつねんとうしえつしき

警察年頭視聞式

パトカーの行進や白バイ訓練を実施

時: 1月8日(木) 14:00~15:00

場: 和歌山マリーナシティ第1駐車場(和歌山市)

問: 県警察本部教養課 ☎073-423-0110

もよお

催し

かんきやう

おもしろ環境まつり

時: 12月20日(土) 11:00~16:00

場: 海南nobinos他(海南市)

問: 脱炭素政策課

☎073-441-2670

FAX073-433-3590

てんじとしよかん

点字図書館から

①音訳ボランティア養成講座(中級)

時: 1月20日~2月17日 全5回

いずれも火曜13:30~15:30

場・定: ビッグ愛(和歌山市) 15人 選考

申: 郵送、電話、FAX、Eメール、インターネットで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を1月5日までに問合先

②バリアフリー映画の上映会

時: 1月18日(日) 13:30~16:00

場: 情報交流センター Big・U(田辺市)

定: 50人 先着順

申: 郵送、電話、FAX、Eメールで氏名、電話番号、付き添いの有無を1月9日までに問合先

①②共通

問: 県点字図書館

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛5階

☎073-488-5721

FAX073-488-5731

✉wakaten@wakaten.jp

※手話通訳・要約筆記は12月18日までに要予約

さいていちんぎん

最低賃金が改定されました

11月1日から県最低賃金が時間額1,045円に改定されました。

問:各労働基準監督署、和歌山労働局

☎073-488-1152

FAX073-475-0113

ちゅうしょうきぎょうむ

きょうさいせいど

中小企業向け共済制度

①小規模企業共済

小規模企業の経営者等が、廃業や退職時の生活資金などのために積み立てることができます。掛金は全額所得控除できるなどの税制メリットに加え、事業資金の借入れもできます。

②経営セーフティ共済

「取引先の倒産」という不測の事態に直面した中小企業が、必要となる事業資金を速やかに借入れできます。

①②共通

問:(独)中小企業基盤整備機構

☎050-5541-7171

共済サポートNavi

※加入手続きなど詳しくはWEBサイトを要確認

ありだそうごうちょうしや

こうじ

有田総合庁舎リニューアル工事

工事中はご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

期間:2028年4月末頃まで

問:有田振興局総務県民課

☎0737-64-1255 FAX0737-64-1256

けんりつかんごしょうせいしよ

せんにんきょういん

県立看護師養成所 専任教員

時:1月10日(土)11:00～

場:県民文化会館(和歌山市)

採用予定人数:2人程度

願書配布:申込先、WEBサイトなど

申・問:郵送、持参で12月2～16日に医務課

☎073-441-2605

FAX073-424-0425

ほけんしやう

りよう

マイナ保険証をご利用ください

12月1日をもって、全ての従来の健康保険証は利用できなくなります。マイナンバーカードをお持ちで、まだマイナ保険証としての登録がお済みでない方は、「マイナポータル」から登録できます。(医療機関・薬局の受付でも登録できます。)

マイナンバーカードをお持ちでない方は、医療保険者から交付される「資格確認書」により、引き続き医療機関を受診することができます。

問:加入している医療保険者(市町村国保、協会けんぽ和歌山支部など)

国民健康保険課

☎073-441-2541

FAX073-431-1010

読者のお便り募ります

県民の友に関する感想などを募集しています。郵送、FAX、Eメール(e0002001@pref.wakayama.lg.jp)で、

しけん

試験

だい

かい

第5・6回

きけんぶつとりあつかいしゃしけん

危険物取扱者試験

時:【第5回】2月8日【第6回】2月15日

いずれも日曜9:30～

場:和歌山市、田辺市、新宮市(受験票で通知)

費:甲種7,200円、乙種5,300円、丙種4,200円

願書配布:申込先、WEBサイト、危機管理消防課、振興局地域づくり課、消防本部

申・問:郵送(簡易書留)、インターネット、持参で12月15～22日(郵送は12月22日消印有効)に消防試験研究センター和歌山県支部

〒640-8137和歌山市吹上2-1-22日赤会館6階

☎073-425-3369 FAX073-425-1996

消防試験研究センター

いくきゅうとうにんきつきしよくいんさいよう

育休等任期付職員採用

時:1月18日(日)

申・問:インターネットで12月5日～1月5日に県人事委員会事務局

☎073-441-3763

FAX073-433-4085

※詳しくは試験案内を要確認

けんちやう

わか

ちから

県庁の若い力

池永 直奈美

公共建築課 職種:建築職

採用:平成29年度

昔からものづくりが好きで、土木や建築、景観のことを学ぶ中で、地元である和歌山のまちづくりや建物にかかわれる今の仕事を志すようになりました。

建築職の仕事では、建物をつくる計画から設計・建設工事・維持管理、そして解体工事といった、建物ができてからなくなるまでの一連の場面に携わることができます。また、都市計画やまちづくりなど、より広い視点に立って取り組む業務もあり、建築に関するさまざまな業務を経験できることが魅力です。

現在は、県有施設の新築・改修・解体に必要な設計や工事の発注、監理業務を担当しています。工事の作業内容は案件ごとに変わるので、日々勉強しながら業務に取り組んでいます。

今後は、都市計画やまちづくりの業務にも携わり、より幅広い建築の分野に対応できるよう、経験を積んでいきたいです。

元気ある県職員を募集 採用情報はこちら

そうだん

相談

あ

や

そうだんかい

空き家なんでも相談会

時:12月13日(土)10:00～12:00

場:tanabe en+(田辺市)

申:電話、FAXで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を12月10日までにわかやま空き家相談窓口

☎073-498-8484 FAX073-472-5555

問:建築住宅課

☎073-441-3184 FAX073-428-2038

はったつしょうがいじ

しゃじゅんかいそうだん

発達障害児・者巡回相談

時・場:【橋本保健所(橋本市)】

1月15日、2月19日、3月19日の木曜

【御坊保健所(御坊市)】

1月16日、2月20日、3月13日の金曜

【新宮保健所(新宮市)】2月12日(木)

【新宮保健所串本支所(串本市)】

1月8日、3月12日の木曜

いずれも11:00～16:00

対:発達障害者本人や家族、支援者等

申・問:電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を相談希望日の2週間前までに県発達障害者支援センターポラリス

☎073-413-3200

FAX073-413-3020

☎polaris@jtw.zaq.ne.jp

はったつしょうがいじ

しゃじゅんかいそうだん

発達障害児・者巡回相談

時・場:【橋本保健所(橋本市)】

1月15日、2月19日、3月19日の木曜

【御坊保健所(御坊市)】

1月16日、2月20日、3月13日の金曜

【新宮保健所(新宮市)】2月12日(木)

【新宮保健所串本支所(串本市)】

1月8日、3月12日の木曜

いずれも11:00～16:00

対:発達障害者本人や家族、支援者等

申・問:電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を相談希望日の2週間前までに県発達障害者支援センターポラリス

☎073-413-3200

FAX073-413-3020

☎polaris@jtw.zaq.ne.jp

ねんまつ

たから

はつばい

年末ジャンボ宝くじ発売!

宝くじの購入はぜひ県内で。

発売期間:12月23日まで

問:財政課

☎073-441-2160 FAX073-422-8384

ぼしゆう

募集

「おもしろらんどクラフト体験フェスタ」出店者

イベント開催日時:2月22日(日)10:00～15:00

場:潮岬青少年の家(串本市)

定:若干名 選考

申・問:電話、FAX、Eメールで申込書(申込先で配布)を12月1～20日までに会場

〒649-3502串本市潮岬669

☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

☎shiose1@gmail.com

潮岬青少年の家

しちやうそんりつがっこう

市町村立学校、

けんりつがっこう

ほじゅうこうしとうろく

県立学校の補充講師登録

区分:講師、事務職員、栄養士

対:それぞれに必要な資格・免許を有する方

申・問:郵送、持参で申込書(申込先、WEBサイトで配布)を12月25日までに【小中学校】

①紀北教育事務所(有田地方以北)

☎073-441-3655 FAX073-424-8877

②紀南教育事務所(日高地方以南)

〒646-0011田辺市新庄町3353-9

☎0739-26-3100 FAX0739-26-3558

【県立学校】教職員課

☎073-441-3660

FAX073-441-3678

しよくぎやうくねれんじゅこうせい

職業訓練受講生

就職に有利な専門知識や技能を習得

科目:OA事務、CAD・エンジニアなど

申・問:ハローワーク(申込期日あり)

※詳しくはWEBサイトを要確認

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。

クーチン

けんりつさんぎやうぎじゅつせんもんがくいん

とうき

県立産業技術専門学院 冬期

たいけんにゅうがく

オープンキャンパス(体験入学)

①和歌山学院

時:12月13日、2月14日いずれも土曜9:30～

場:和歌山産業技術専門学院(和歌山市)

②田辺学院

時:12月20日(土)、1月7日(水)、2月14日(土)いずれも9:30～

場:田辺産業技術専門学院(田辺市)

※情報システム科のみ情報交流センターBig・U

①②共通

申・問:電話、FAX、インターネットで申込書(WEBサイトで配布)を各開催日2日前13:00までに各学院

①和歌山産業技術専門学院

☎073-477-1253

FAX073-477-1254

②田辺産業技術専門学院

☎0739-22-2259

FAX0739-22-3123

わかやまけん

イー

和歌山県eスポーツフェスタ

ウィンター

「きら★スポ」Winter 2025

こどもから高齢者までeスポーツを楽しめるイベント

時:12月27日(土)10:00～15:00

場:和歌山城ホール(和歌山市)

問:デジタル社会推進課

☎073-441-2405 FAX073-428-1136

かた

あ

ひろば

“りいぶる”語り合い広場

テーマ:我が家の家計を整える

時:1月24日(土)13:30～16:30

場:ビッグ愛(和歌山市)

定:30人 先着順

申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで氏名、住所、電話番号をジェンダー平等推進センター

〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛9階

☎073-435-5245 FAX073-435-5247

☎libre@sirius.ocn.jp

けんけい
県警から

①北朝鮮人権侵害啓発週間(12月10～16日)

国民的課題である拉致問題をはじめ、北朝鮮当局による人権侵害問題は、国際社会を挙げて取り組むべき課題です。すべての拉致被害者の一刻も早い帰国を実現するためにも、この問題について関心と認識を深めていくことが大切です。

問:県警察本部外事課 ☎073-423-0110

②1月10日は「110番の日」

110番は、事件・事故発生時の「緊急通報電話」です。相談などは、最寄りの警察署か、警察相談窓口をご利用ください。

【警察相談窓口電話】 ☎073-432-0110または#9110

問:県警察本部地域指導課 ☎073-423-0110

③風営法が一部改正されました

ホストクラブ等を利用した女性客が多額の借金を背負われ、その返済のために売春や性風俗店での勤務を要求される事案が社会問題化しています。その対応のため、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(風営法)」が改正されました。

【改正内容】(1)6月28日施行 ●接待飲食営業に係る遵守事項・禁止事項の追加
●性風俗店によるスカウトバックの禁止 ●無許可営業等に対する罰則の強化
(2)11月28日施行 ●風俗営業からの不適格者の排除
※より詳しい改正内容はWEBサイトをご確認ください。

問:県警察本部生活安全企画課
☎073-423-0110



ま きゅう
マッサージ・あん摩・はり・灸
う かた
を受ける方へ

マッサージなどを業とする人は、国が法律で定めた資格の取得が必要です。施術を受ける際は、施術者が有資格者であることを確認してください。県と和歌山市では、無資格者との区別のため、法に基づく届出をした施術所に開設届出済ステッカーを交付しています。

問:医務課

☎073-441-2600 FAX073-424-0425

てんじばん
点字版・マルチメディア
ばんぼしけんこうてちよう
デイジー版母子健康手帳を
ぞん
ご存じですか

視覚に障害のある妊産婦の方には、点字版またはマルチメディアデイジー版の母子健康手帳の交付が可能です。必要な方は妊娠届出書の提出時などにご相談ください。

問:お住まいの市町村窓口



しょうがいしゃとうようちゅうしゃくかくりようしやう
障害者等利用駐車区画利用証

県では移動に配慮が必要な方(障害のある方、妊産婦、けが人など)に対し、利用証を交付しています。本当に必要とする方が必要な時に利用できるよう、駐車区画の適正利用にご理解とご協力をお願いします。

問:振興局健康福祉部、障害福祉課
☎073-441-2532
FAX073-432-5567



でんわ つうわろくおん かいし
電話の通話録音を開始します

県では、行政サービスの向上と職員が安心して働ける職場環境整備の一環として、1月5日から本庁舎および各総合庁舎等において、外線通話の録音を開始します。

1月5日以降に県へ電話をかけると、通話が録音される旨のアナウンスが流れ、その後、電話がつながります。また、県から電話をかけた場合には、アナウンスは流れませんが、通話は録音されます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

問:考査課、管財課 ☎073-441-2135 FAX073-422-7856

医薬品に関する新ルールが導入！ ジェネリック医薬品への切り替えで大きな節約に！

2024年10月から、ジェネリック医薬品があるお薬で先発医薬品の処方希望される場合は通常の自己負担分とは別に「特別の料金」をお支払いいただいています。

「特別の料金」とは…先発医薬品とジェネリック医薬品の価格差の4分の1相当の料金を言います。

【支払のイメージ例】
(3割負担の場合)

お薬代 (10割)	支払額
先発医薬品 (長期収載品)	1,000円
ジェネリック医薬品 (後発医薬品)	600円

※現在一部のジェネリック医薬品に供給不足や欠品が生じており、切り替えが難しい場合があります。

110円の「特別の料金」が加算
「特別の料金」の計算方法については協会けんぽホームページをご覧ください
「長期収載品の選定療養について」
ここからアクセスじゃ



全国健康保険協会 和歌山支部
協会けんぽ

〒640-8516 和歌山市六番丁5 和歌山六番丁801ビル3階
代表TEL073-421-3100(平日8:30～17:15)



展は展示 イはイベント

の施設は入館料が必要(65歳以上、障害者、高校生以下は入館無料)

和歌山
ミュージアム
コレクション



●施設無料開放日のご案内

県立近代美術館:12月7日(日)、1月4日(日)

県立自然博物館:12月24日(水)、1月28日(水)

紀伊風土記の丘:12月2日(火)、1月4日(日)

※県立博物館は3月31日(金)まで工事のため休館

けんりつ きんだいびじゅつかん * ☎073-436-8690 FAX073-436-1337
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14

9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜、12/29～1/3

展 MOMAWコレクション ①名品選②現代の美術
開催中～①1月8日(木)②4月5日(日)

けんりつ しぜん はくぶつかん * ☎073-483-1777 FAX073-483-2721
〒642-0001海南市船尾370-1

9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜、12/29～1/3

イ 両生類・は虫類の標本を作ってみよう

1月11日(日)13:00～16:00

対・定:小学3年生以上(小学生は保護者同伴) 15人 抽選
申:～12月21日

きい ふどき おか * ☎073-471-6123 FAX073-471-6120
〒640-8301和歌山市岩橋1411

9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館/月曜、12/29～1/3

イ ジュニア学芸員研究発表会
12月14日(日)13:30～15:30

イ 学芸員講座⑤「高野6」

1月11日(日)13:30～15:30

対・定・費・申:小学生以上 30人 先着順 100円 12月24日～

イ ①ハニワづくり②まが玉づくり

1月17・31日 いずれも土曜 ①13:30～②14:30～

対・定:小学生以上 ①②あわせて各日15人 先着順

費・申:①350円②300円 12月26日～

イ 学芸員講座⑥「岩橋千塚29」

1月18日(日)13:30～15:30

対・定・費・申:小学生以上 30人 先着順 100円 12月25日～

イ 古墳ガイドツアー

1月25日(日)13:30～15:30

対・定・費・申:小学生以上 30人 先着順 100円 1月9日～

しよくぶつこうえんりよつか ☎0736-62-4029 FAX0736-63-2570
植物公園緑花センター 〒649-6211岩出市東坂本672

9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/火曜・水曜、12/28～1/3

12月の花ごよみ シクラメン、ポインセチア、洋ラン、ビオラ、ハボタン、ツバキ、サザンカ

展 冬の洋ラン展

12月5日(金)～7日(日)

イ 第・初春のしらべ

1月4日(日)13:30～14:30



かたおなみこうえん まんようかん けんこうかん ☎073-446-5553 FAX073-446-5554
片男波公園万葉館・健康館 〒641-0022和歌山市和歌浦南3-1700

9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜、12/29～1/3

イ クリニカルアート ファンタスティックトナカイを作ろう

12月14日(日)10:00～12:00、13:30～15:30

定:各回10人 先着順

費・申:3,500円 事前申込



けんりつ としょかん ☎073-436-9500 FAX073-436-9501
県立図書館 〒641-0051和歌山市西高松1-7-38

9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、第2木曜、12/2～12、12/29～1/4

イ 放送大学連携公開講座「美しさの秘密を解く・日本刀から外科手術までの曲線の力」

12月13日(土)14:00～15:30

定:50人 先着順

イ 室内楽の愉しみ ヴァイオリンやピアノによるコンサート

12月14日(日)14:00～

定・申:300人 先着順 事前申込

イ 中高生読書まつり ビブリオバトル、POPコンクール表彰式
12月21日(日)11:00～16:00

定:200人 先着順

けんりつ きなん としょかん ☎0739-22-2061 FAX0739-22-4773
県立紀南図書館 〒646-0011田辺市新庄町3353-9
(県立情報交流センター Big・U内)

9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、第2木曜、12/2～12、12/29～1/4

イ おはなし会(読み聞かせ・紙芝居)

12月21日(日)10:30～11:30

定:33人 先着順

どうぶつ あいご ☎073-489-6500 FAX073-489-6504
動物愛護センター 〒640-1251紀美野町国木原372

10:00～17:00 休館/火曜、12/29～1/3

イ 犬・猫の飼い方講習会・譲渡会

①12月15日(月)・20日(土)、1月11日(日)・22日(木)・31日(土)②12月11日(木) いずれも11:00～

場:①動物愛護センター②新宮保健所串本支所(串本町)

※講習会はリモートでも受講できます。(詳しくは要問合せ)

※犬・猫の譲渡を受けるには、講習会の受講が必要です。センターでは受講者に常時譲渡を行っています。

なんき くまの ☎0735-67-7100 FAX0735-67-7191
南紀熊野 ジオパークセンター 〒649-3502串本町潮岬2838-3

9:00～17:00 休館/12/29～1/3

イ 巨大地震の最新の研究成果 講演会

1月14日(水)10:00～11:30

定・申:50人 先着順 12月8日～1月8日

和歌山県PRキャラクター きいちゃんの おすすめ

ワンダフルスポット

きいちゃんがおでかけスポットを紹介！

🅐 障害者用駐車場有り 🅞 障害者用トイレ有り



昭和レトロの
まちなみ

川原家横丁で定期開催! 熊野曼荼羅絵解き
はる びくに
遙か昔、「比丘尼」という尼僧が日本各地で熊野観心十界図と那智参詣曼荼羅の絵解きをし、熊野信仰を全国に広めたといわれています。絵解きとは、絵図の意味を説明すること。現在は、比丘尼に扮した語り部が、当時の熊野曼荼羅絵解きを再現しています。

川原家横丁

熊野速玉大社近くであり、かつて川の交易が盛んだった頃のにぎわいを再現している商店が建ち並んでいます。地元名産品の買い物や軽食などが楽しめ、観光で訪れる人たちの人気スポットです。

問い合わせ先

新宮市船町1-2-1
☎0735-23-3333(新宮市役所商工観光課)
※営業時間、定休日は店舗により異なります。



絵解きの問い合わせ先

☎0735-22-2840
(新宮市観光協会)
開催日:毎週日曜、祝日
開催時間:10:30~12:00
(所要時間は5~10分)
料金:無料

◀絵解きで使われる
新宮参詣曼荼羅図

旧西村家住宅(西村伊作記念館)

新宮市には、明治から昭和初期にかけて日本文化の発展に大きく貢献した文化人が多くいます。その一人である西村伊作は、東京・御茶ノ水に「文化学院」を開校し、家族が集う居間を中心とした住宅づくりを先駆的行うなど、日本人の衣食住・教育の改革に取り組みしました。大正・昭和モダンを象徴する建築物である彼の自邸は、重要文化財にも指定され、記念館として公開されています。



大正・昭和
モダンな
居間と食堂



問い合わせ先

新宮市丹鶴1-2-14 ☎0735-22-6570
営業時間:9:00~17:00
定休日:月曜(祝日の場合次の平日)、祝日の翌日、
12/29~1/3
料金:大人220円、小中学生110円



雲取温泉(高田グリーンランド)

高田川のほとりにある源泉掛け流しの温泉。四季折々の自然の中で、心安らぐひとときを過ごせます。宿泊はもちろん日帰り入浴や休憩にも利用できます。

露天風呂は
淡い乳白色の
お湯



問い合わせ先

新宮市高田1810 ☎0735-29-0321
営業時間:平日14:00~21:00、土日祝12:00
~21:00(いずれも最終受付20:30)
定休日:不定休
料金:立ち寄り湯/大人500円、小学生250円



いふるさと新宮の味/ めはり寿司とさんま寿司

郷土の文豪・佐藤春夫は、故郷で一番美味しいものは「めはり」二に「さんま」と語っていたといわれます。「めはり寿司」は、高菜の漬物でご飯をくるんだ素朴で懐かしい味。「さんま寿司」は、晩秋から冬に紀南沿岸で獲れる脂の落ちたさんまを酢飯で握っています。



ノロウイルス食中毒を防ぎましょう

ノロウイルス食中毒は12~1月がピークになる傾向があります。予防のポイントをしっかり守り、ノロウイルス食中毒を防ぎましょう。



予防のポイント

- ①「手洗い」は有効な予防方法！
トイレ後や調理・食事にはよく手を洗いましょう。
- ②食品は十分な加熱を 中心温度が85℃以上で90秒以上の加熱調理をしましょう。
- ③調理器具の洗浄、消毒 調理器具をよく洗った後、塩素系漂白剤に浸すなどして消毒を徹底しましょう。
- ④ふん便やおう吐物の適切な処理 使い捨ての手袋などを着用し、塩素系漂白剤で速やかに消毒しましょう。

問:生活衛生課 ☎073-441-2631 FAX073-432-1952

日本政府は、これまでに17名を北朝鮮当局による拉致被害者として認定しています。また、拉致された可能性を排除できない人も多数存在しています。

北朝鮮は、長年にわたり拉致を否定していましたが、2002年に初めて日本人拉致を認め、謝罪し、再発防止を約束しました。しかし、拉致された日本人のうち、日本に帰国できたのは5名にとどまりました。残された被害者家族の時間は、大切な家族が拉致された日から止まったままです。

拉致問題は決して過去の話ではありません。今も、助けを待っている人がいて、大切な家族を助けようと懸命に活動しているご家族がいます。

拉致問題について、私たち一人一人が「自分とは関係のない遠い所で起きている問題ではない」という意識を持つことが大切です。

一日も早く全ての拉致被害者が帰国できるよう、一人一人が関心を寄せ続け、伝え合うことが、この問題の解決に向けた力強い後押しとなります。

※ブルーリボン
拉致被害者の救出を求める国民運動のシンボルです。



拉致問題解決に向けて
私たちができること

問 人権施策推進課
☎073-441-2566
FAX 073-433-4540

Rakuten Mobile

和歌山県強化宣言

ギガも通話も無制限! ※1 ※2

3GB まで 880円/月 ※3 家族割引適用時 税込968円

ギガ無制限 ※1 2,880円/月 家族割引適用時 税込3,168円

※1 混雑時など公平なサービス提供のため速度制御する場合あり。通話料等別。※2 Rakuten Link利用の場合。一部対象外番号あり。※3 各種手数料等別。【発行元】楽天モバイル株式会社 住所:〒158-0094 東京都世田谷区玉川1丁目14番1号 楽天クリムゾンハウス 電話番号:050-5817-1360

来店予約は
こちら



広告

県政情報発信中！

テレビ番組(テレビ和歌山)

きのくに21

毎週日曜9:30・[再]18:00

県民チャンネル

毎週月・火・木・金・土曜21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜20:30

ラジオ番組(和歌山放送)

ラジオでお届け！県政最前線

毎週火曜15:45

県庁だより

毎日11:40・[再]月～金曜18:00

SNS



X



LINE



Facebook



Instagram



YouTube

県民の友読者プレゼント！

5本指靴下 TG綿 スタンダードクルー

肌触りの良い綿素材で履き口にゴム糸を使用しないのにずれ落ちにくい5本指ソックスです。



ニッテイド株式会社
 ☎073-492-0077

抽選で10名様にプレゼント！

12月22日(月)<消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想、「23-25cm・サーモンピンク」または「25-27cm・ライトグレー」のどちらか一つを記入し、ハガキで〒640-8585(住所不要)広報課「プレミアム和歌山」係へご応募ください(WEBサイトからも応募可)。



※皆さんの個人情報は、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

問：広報課

☎073-441-2032 FAX073-423-9500

県民の友最新号

知事メッセージ

万博の感動を
未来へつなぐ



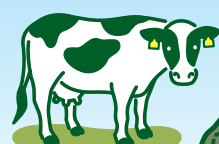
4月13日に開幕した大阪・関西万博は半年の会期を経て、10月13日をもって大盛況のうちに閉幕しました。

県では、関西9府県で出展した「関西パビリオン」の中に「和歌山ゾーン」を開設、「和歌山百景一霊性の大地」をテーマに、古くから伝わる和歌山の世界文化や世界に誇る多様な魅力を国内外に発信してまいりました。オープニングウィークには、「和歌祭」のメンバーとお神輿を担ぎ開幕を盛り上げ、期間中は目標としていた30万人を超える約47万人の皆さんにご来場いただきました。

また、「ものづくり」と「食」をテーマに和歌山の地場産業を発信するイベントを実施、地域単位での物産観光PRイベントを開催するなど、岸本前知事が掲げられた「県民総参加」との想いを引き継ぎ、県民の皆さんとともに万博を創り上げることができました。和歌山ゾーンへ週替わりや日替わりで出展・出演した個人や団体は約50組にも上り、これほど多岐にわたる方々が参加した取組は、関西パビリオン内でも類を見ないものでした。これらの方々にとってはかけがえのない経験であり、貴重な財産となったことでしょう。さらには、海外各国との交流を深めたり、新たな交流のきっかけもあり、今後の展開が期待されます。

これらの取組を通じて、市町村、企業、地域団体など、多様な主体が連携し、本県の魅力を余すことなく、国内外に発信することができたものと手応えを感じています。今後も観光誘客やビジネス機会の創出、国内外の企業・学校等との交流促進に発展させたりと、和歌山がさらに注目される仕掛けづくりにつなげてまいります。

和歌山県知事 宮崎 泉



国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが
上昇しています。

皆様に国産の畜産物を食べていただくことが
生産者の応援に繋がります。

公益社団法人

中央畜産会

中央畜産会

TEL.03-6206-0840



東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

広報課WEBサイトから「県民の友」のバックナンバーをダウンロードできます。

県民の友



総合
評価値 97

・古紙パルプ配合率 70%
・塗工量 30g/ml以下

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。

広告